

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

生徒の個性を伸ばし、豊かな人間性を育み、志を持って不確実な時代を切り拓く力を育てる学校

～ 「茨西 PRIDE」のもと、茨西につながるすべての人が「TEAM 茨西」として、生徒それぞれの「志をカタチに」する ～

- 【生徒に育みたい力】 ◇ 確かな学力を基に、高い志を持ち、グローバル社会を生きる力
◇ 生徒が自己肯定感を持ち、社会人として自律できる力
◇ 自分の周りの人、地域、世界とつながる力
- 【教職員に求める力】 ◇ 同僚性を高めチームとして互いに協調し、真摯に生徒に向き合う力



2 中期的目標

1. “確かな学力”の育成

(1) 生徒の学習支援の強化

- ア 授業規律の一層の徹底
イ 学習支援体制の構築と教育産業の有効利用による自学自習の拡充
ウ 生徒一人一台の学習端末の効果的な活用

(2) グローバル人材の育成

- ア 英語四技能習得にむけた教科の枠を超えた教育活動の推進

(3) 「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」を育むための授業力向上

- ア 授業評価のPDCA サイクルによる授業改善と教員相互が切磋琢磨できる校内環境づくり
イ 主体的・対話的で深い学び及び能動的授業の推進

※ 学校教育自己診断（保護者版）、授業のわかりやすさに係る肯定回答率、令和5年度 65%以上をめざす。(H30: 55%・R1: 58%・R2: 61%)

※ 学校教育自己診断（教職員版）、「主体的・対話的で深い学び」（旧AL）へ取り組む教職員の割合、令和5年度 85%以上をめざす。

（「ALに取り組む教職員の割合」 H30: 70%・R1: 80%・R2: 79%）

2. 志高く“社会を切り拓く力”の育成 ▷「志をカタチに」

(1) 生徒の将来を見据えたキャリアサポート

- ア 全方位の進路マップによる、早期の生徒・保護者の進路意識の醸成
イ 高大連携やフィールドワーク等によるキャリア意識の涵養

※ 第3学年4月の進路希望調査（4年制大学・短期大学進学者）の実現率、令和5年度 80%以上をめざす。(H30: 62%・R1: 69%・R2: 65%)

3. 自己肯定感を持ち、社会人として“自律する力”を育む ▷「茨西 PRIDE」の涵養

(1) 自律を促す教育活動の展開

- ア 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上

(2) 自己肯定感を育む「安全安心な学校づくり」

- ア 人権道德教育委員会及を核として様々な人権課題に取り組み豊かな人権感覚を養うと共に、道徳教育の推進を図る。
イ 教育相談委員会を核とした教育相談活動及び支援教育活動の活性化
ウ 交通安全教育や防災・防犯教育を通じた危機管理能力の向上と共助に係わる意識の涵養

※ 始業5分前の「ロッカー前遅刻」総数、令和5年度 2,250人以下をめざす。(H30: 3,792人・R1: 3,232人・R2: 2,310人)

※ 生徒・保護者向け学校教育自己診断「命の大切さ・豊かな心・人権感覚の醸成」に係わる質問の肯定回答率、令和5年度 85%以上をめざす。

（生徒・保護者回答の平均 H30: 71%・R1: 69%・R2: 79%）

4. 自分の周りの人、地域、世界と“つながる力”の育成 ▷「TEAM 茨西」の形成

(1) HR活動・生徒会活動・部活動や国際交流行事等を通して「つながる力」を育てる

- ア HR活動・生徒会活動及び部活動の活性化
イ グローバル社会を生きる力を育む国際交流事業等の維持及び推進

(2) 中高連携の推進と地域連携等の強化

- ア 中高連絡会・地域交流協議会等により地域連携を強化し、地域のボランティア活動を通じ社会貢献を推進する。
イ 卒業生・保護者・地域の教育に係る人材等を発掘し協力体制を構築する。

(3) 家庭との連携及びPTA活動の活性化

- ア 家庭連絡や意思疎通をきめ細かく行い、学校と家庭で連携した教育を推進する。
イ PTA活動の一層の活性化

※ 生徒の行事に係わる学校教育自己診断の肯定回答率、令和5年度 85%以上をめざす。(H30: 78%・R1: 75%・R2: 82%)

※ 部活動への一年次当初の加入率、令和5年度 75%以上をめざす。(H30: 64%・R1: 70%・R2: 67%)

※ 保護者への連絡及び意思疎通の項目の肯定回答率、95%以上を維持する。(H30: 95%・R1: 96%・R2: 95%)

5. 教職員の“生徒に向き合う力”の強化

(1) 教職員がチームで生徒と向き合う

- ア 教職員の教育力を伸ばすための組織的な計画の策定による職員研修等の実施
イ 教職員の働き方改革を実現し、生徒と向き合うゆとりを確保する

※ 教職員向け学校教育自己診断において全ての項目で肯定回答率令和5年度 90%以上をめざす。(H30: 5/9項目・R1: 3/9項目・R2: 1/9項目)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和3年12月実施分]	学校運営協議会からの意見																														
<p>【生徒アンケート結果より】</p> <ul style="list-style-type: none"> 質問全13項目中、10項目において肯定的回答のポイントを伸ばした(R2: 13/13項目、R1: 5/13項目、H30: 10/13項目)。1項目はほぼ変わらず、2項目で減少した。 <table border="0"> <tr><td>① 学校に行くのが楽しい</td><td>80% ⇒ 82%</td></tr> <tr><td>② まじめな態度で授業を受けている</td><td>91% ⇒ 93%</td></tr> <tr><td>③ 授業で情報機器を活用している</td><td>84% ⇒ 89%</td></tr> <tr><td>④ 他の先生が授業見学にくることがある</td><td>49% ⇒ 48%</td></tr> <tr><td>⑤ 学校生活についての先生の指導は納得できる</td><td>73% ⇒ 71%</td></tr> <tr><td>⑥ 茨木西高校は進路についての情報を知らせてくれる</td><td>84% ⇒ 87%</td></tr> <tr><td>⑦ 将来の進路や生き方について考える機会がある</td><td>81% ⇒ 86%</td></tr> <tr><td>⑧ いじめについて私たちが困っていると真剣に対応してくれる</td><td>80% ⇒ 87%</td></tr> <tr><td>⑨ 悩みなどがあるときに相談したいと思う先生がいる</td><td>51% ⇒ 53%</td></tr> <tr><td>⑩ 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある</td><td>78% ⇒ 87%</td></tr> <tr><td>⑪ 「体育祭」は、楽しく行えるように工夫されている</td><td>82% ⇒ 83%</td></tr> <tr><td>※ R2年度は、「レインボーフェスティバル」は、楽しく行えるように工夫されている</td><td></td></tr> <tr><td>⑫ 「いばにしフェスタ」は、楽しく行えるように工夫されている</td><td>75% ⇒ 73%</td></tr> <tr><td>※ R2年度は、「文化祭」は、楽しく行えるように工夫されている</td><td></td></tr> <tr><td>⑬ 「修学旅行」は楽しく行えるよう工夫されている</td><td>90% ⇒ 91%</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中、教職員が生徒たちと力を合わせ「チーム茨西」として、出来ることに全力で取り組んだ成果が10項目のポイントアップに現れている。(減少した2項目も微減に留まっている。)教職員一同の努力が報われた気がする。 	① 学校に行くのが楽しい	80% ⇒ 82%	② まじめな態度で授業を受けている	91% ⇒ 93%	③ 授業で情報機器を活用している	84% ⇒ 89%	④ 他の先生が授業見学にくることがある	49% ⇒ 48%	⑤ 学校生活についての先生の指導は納得できる	73% ⇒ 71%	⑥ 茨木西高校は進路についての情報を知らせてくれる	84% ⇒ 87%	⑦ 将来の進路や生き方について考える機会がある	81% ⇒ 86%	⑧ いじめについて私たちが困っていると真剣に対応してくれる	80% ⇒ 87%	⑨ 悩みなどがあるときに相談したいと思う先生がいる	51% ⇒ 53%	⑩ 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある	78% ⇒ 87%	⑪ 「体育祭」は、楽しく行えるように工夫されている	82% ⇒ 83%	※ R2年度は、「レインボーフェスティバル」は、楽しく行えるように工夫されている		⑫ 「いばにしフェスタ」は、楽しく行えるように工夫されている	75% ⇒ 73%	※ R2年度は、「文化祭」は、楽しく行えるように工夫されている		⑬ 「修学旅行」は楽しく行えるよう工夫されている	90% ⇒ 91%	<p>令和3年度 大阪府立茨木西高等学校 第1回 学校運営協議会(記録概要)</p> <p>◆日時 令和3年5月(文書開催) 協議</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和2年度学校運営評価について <ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート結果は全ての項目で前年度よりポイントが上がっている状況は、生徒は勿論先生方のご苦勞が反映された結果だと評価する。 教職員アンケート結果は、全体的にポイントが下がっているのは気になる。コロナ禍の影響が相当負担になっているのではないかと思慮される。 80時間超え教職員20名以下の計画が大幅減を達成された事に敬意を評します。 令和3年度学校経営計画について <ul style="list-style-type: none"> 全体的に数値化がより詳細になるなど、方向性や具体策がわかりやすい案。 めざす学校像が、昨年度「生徒の個性を尊重し」から今年度「生徒の個性を伸ばし」と目標が代わったことに評価したい。 1年生の部活動加入率70%以上を維持」は、引き続き部活動の制限が加わっているため、加入率が低くなるのではと感じる。 その他 <ul style="list-style-type: none"> このコロナ禍の中、日頃より子供達のために人力尽くして下さりありがとうございます。生徒の体育祭がしたいという言葉が心に残ります。
① 学校に行くのが楽しい	80% ⇒ 82%																														
② まじめな態度で授業を受けている	91% ⇒ 93%																														
③ 授業で情報機器を活用している	84% ⇒ 89%																														
④ 他の先生が授業見学にくることがある	49% ⇒ 48%																														
⑤ 学校生活についての先生の指導は納得できる	73% ⇒ 71%																														
⑥ 茨木西高校は進路についての情報を知らせてくれる	84% ⇒ 87%																														
⑦ 将来の進路や生き方について考える機会がある	81% ⇒ 86%																														
⑧ いじめについて私たちが困っていると真剣に対応してくれる	80% ⇒ 87%																														
⑨ 悩みなどがあるときに相談したいと思う先生がいる	51% ⇒ 53%																														
⑩ 命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある	78% ⇒ 87%																														
⑪ 「体育祭」は、楽しく行えるように工夫されている	82% ⇒ 83%																														
※ R2年度は、「レインボーフェスティバル」は、楽しく行えるように工夫されている																															
⑫ 「いばにしフェスタ」は、楽しく行えるように工夫されている	75% ⇒ 73%																														
※ R2年度は、「文化祭」は、楽しく行えるように工夫されている																															
⑬ 「修学旅行」は楽しく行えるよう工夫されている	90% ⇒ 91%																														
<p>【保護者アンケート結果より】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの回収率が79%と4ポイント減少した。3学期早々の臨時休校・学年閉鎖等の影響も大きい(R2: 83%、R1: 73%、H30: 77%)。 質問全9項目中、4項目において肯定的回答のポイントを伸ばし、4項目はほぼ変わらず、1項目で減少した。 <table border="0"> <tr><td>① 子どもは学校に行くのを楽しみにしている</td><td>80% ⇒ 75%</td></tr> <tr><td>② 子どもは、授業がわかりやすいと言っている</td><td>61% ⇒ 64%</td></tr> <tr><td>③ 茨木西高校の生徒指導の方針に共感できる</td><td>81% ⇒ 81%</td></tr> <tr><td>④ 茨木西高校は、将来の進路実現に向けた適切な指導をしている</td><td>73% ⇒ 77%</td></tr> <tr><td>⑤ 茨木西高校は、いじめについて子どもが困ることがあれば真剣に対応してくれる</td><td>80% ⇒ 82%</td></tr> <tr><td>⑥ 茨木西高校は、豊かな心や人権感覚を持ち、自分の生き方を考える生徒を育てようとしている</td><td>80% ⇒ 79%</td></tr> <tr><td>⑦ 茨木西高校は、色々な手段(携帯メールなど)で家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている</td><td>95% ⇒ 95%</td></tr> <tr><td>⑧ 授業見学や懇談会、進路説明会などの活動に参加したことがある</td><td>58% ⇒ 69%</td></tr> <tr><td>⑨ 「体育祭」や「いばにしフェスタ」などの学校行事の動画配信の視聴または参加をしたことがある</td><td>70% ⇒ 69%</td></tr> <tr><td>※ R2年度は、「レインボーフェスティバル」や「いばにしフェスタ」などの・・・</td><td></td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ①については、通常の学校生活への渴望が影響を与えていると考えられる。 ②については、昨年度から教職員が前向きに休校中のオンライン授業を含めコツコツと努力を積みかねてきた成果が結果として表れている。 ⑦については、昨年度同様の高評価をいただいた。今後もより質の高い情報発信に努めてきたい。 ⑧については、コロナ禍の中でオンラインも含め出来る限り代替行事を実施した結果であろう。 	① 子どもは学校に行くのを楽しみにしている	80% ⇒ 75%	② 子どもは、授業がわかりやすいと言っている	61% ⇒ 64%	③ 茨木西高校の生徒指導の方針に共感できる	81% ⇒ 81%	④ 茨木西高校は、将来の進路実現に向けた適切な指導をしている	73% ⇒ 77%	⑤ 茨木西高校は、いじめについて子どもが困ることがあれば真剣に対応してくれる	80% ⇒ 82%	⑥ 茨木西高校は、豊かな心や人権感覚を持ち、自分の生き方を考える生徒を育てようとしている	80% ⇒ 79%	⑦ 茨木西高校は、色々な手段(携帯メールなど)で家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている	95% ⇒ 95%	⑧ 授業見学や懇談会、進路説明会などの活動に参加したことがある	58% ⇒ 69%	⑨ 「体育祭」や「いばにしフェスタ」などの学校行事の動画配信の視聴または参加をしたことがある	70% ⇒ 69%	※ R2年度は、「レインボーフェスティバル」や「いばにしフェスタ」などの・・・		<p>令和3年度 大阪府立茨木西高等学校 第2回 学校運営協議会(記録概要)</p> <p>◆日時 令和3年10月(文書開催) 協議</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和3年度「学校経営計画」進捗状況について <ul style="list-style-type: none"> 夏休み中の講習、外部模試参加者数が大きく増加していることを評価する。 学習端末の活用に係る教職員研修をすでに5回実施済みであることを評価する。 今年度「校長マネジメントを活用しSCの訪問日数を倍増」し相談件数が増加していることは、多様な生徒対応として評価する。 留学の代替として夏休みに実施した語学専門学校での疑似留学体験の内容は？ 英語学習のスピーキング能力への取り組みに期待する。 コロナの影響で全てにおいて満足のゆく成果が出せなかったのではないかと推察される。成果を出すのは至難の業ではあるが、生徒の為に頑張ってもらいたい。 「総合探究」については、ご苦勞も多いかとは思いますが、意義の大きなものになると思う。 令和4年度「使用教科書」について ⇒ 承認 その他 <ul style="list-style-type: none"> 図書館(質問コーナーも含め)の活用は具体的にどのように工夫しているのか？ 全体として、生徒の学習・進学に対する意欲が高いように感じ、安心いたしました。不自由だからこそ、人との直接のコミュニケーションを求める生徒も多いと思います。先生方のご尽力に頭が下がります。 										
① 子どもは学校に行くのを楽しみにしている	80% ⇒ 75%																														
② 子どもは、授業がわかりやすいと言っている	61% ⇒ 64%																														
③ 茨木西高校の生徒指導の方針に共感できる	81% ⇒ 81%																														
④ 茨木西高校は、将来の進路実現に向けた適切な指導をしている	73% ⇒ 77%																														
⑤ 茨木西高校は、いじめについて子どもが困ることがあれば真剣に対応してくれる	80% ⇒ 82%																														
⑥ 茨木西高校は、豊かな心や人権感覚を持ち、自分の生き方を考える生徒を育てようとしている	80% ⇒ 79%																														
⑦ 茨木西高校は、色々な手段(携帯メールなど)で家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている	95% ⇒ 95%																														
⑧ 授業見学や懇談会、進路説明会などの活動に参加したことがある	58% ⇒ 69%																														
⑨ 「体育祭」や「いばにしフェスタ」などの学校行事の動画配信の視聴または参加をしたことがある	70% ⇒ 69%																														
※ R2年度は、「レインボーフェスティバル」や「いばにしフェスタ」などの・・・																															
<p>【教職員アンケート結果より】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続いてアンケートの回収率は100%(R2: 100%、R1: 83%、H30: 85%)。 質問全9項目中、すべての項目において肯定的回答のポイントを伸ばした。 <table border="0"> <tr><td>① 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている</td><td>89% ⇒ 90%</td></tr> <tr><td>② 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている</td><td>85% ⇒ 86%</td></tr> <tr><td>③ この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒(生活)指導を行っている</td><td>85% ⇒ 92%</td></tr> <tr><td>④ 生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている</td><td>80% ⇒ 92%</td></tr> <tr><td>⑤ いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている</td><td>89% ⇒ 98%</td></tr> <tr><td>⑥ 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる</td><td>85% ⇒ 91%</td></tr> <tr><td>⑦ 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている</td><td>85% ⇒ 90%</td></tr> <tr><td>⑧ 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている</td><td>98% ⇒ 100%</td></tr> <tr><td>⑨ 生徒の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法を行っている</td><td>79% ⇒ 89%</td></tr> </table>	① 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている	89% ⇒ 90%	② 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている	85% ⇒ 86%	③ この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒(生活)指導を行っている	85% ⇒ 92%	④ 生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている	80% ⇒ 92%	⑤ いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている	89% ⇒ 98%	⑥ 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる	85% ⇒ 91%	⑦ 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている	85% ⇒ 90%	⑧ 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている	98% ⇒ 100%	⑨ 生徒の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法を行っている	79% ⇒ 89%	<p>令和3年度 大阪府立茨木西高等学校 第3回 学校運営協議会(記録概要)</p> <p>◆日時 令和4年3月1日に対面での実施を予定していたが、当日になって3名の委員の方がコロナ対応等で欠席となったため定足数を満たせず、急遽文書開催に変更。</p> <p>協議</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和3年度「学校教育自己診断」集計結果について <ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート結果について、全体として評価する。特に③で高い数値89%となっている。 2年生から3年生への1年間の改善がめざましい。 3年生については、「学校に行くのが楽しい」という質問に対する「とてもそう思う」の回答率が、31%⇒23%⇒36%となっており、非常に意義の大きいことと存じます。 令和3年度「学校経営計画」達成状況について <ul style="list-style-type: none"> 1確かな学力(1)生徒の学習支援 イ長期休暇中の講習参加者数は、評価に値する。(2)授業力向上 イの2項目は判断通り評価する。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中、着実に改善項目が増えており、校長や教職員さまのたゆまないご努力に感謝いたします。 5-(1)-イ「月当たりの時間外労働」について、学校外の教育活動が先生方の負担の大きな一部となっていることを改めて認識いたしました。実態の把握や原因究明、改善と、さらなるご苦勞が続きますが、御校の継続的発展のため、引き続きよろしく願いいたします。 生徒に向き合う力、学習指導、西高の一人一台の端末を使っでの学習指導は一早い取り組みでモデル校として選出された点は高く評価できる。 なにかと制約のある中で学校生活でしたが、今となってはすべていい思い出になっている様です。入学当初は学校や友達に馴染めるか心配でしたが、常に学校が楽しい、学校に行きたい、しか言わなかったのが、茨木西高校で良かったです。 令和4年度「学校経営計画(案)」について <ul style="list-style-type: none"> 中期的目標は、記載通りで了解。 3本年度の取り組み内容及び自己評価 1確かな学力(3)授業力向上 の新規であるChromebookの具体的内容と活用方法を説明してほしい。⇒ 授業中の生徒同士の協働学習や授業の振り返りおよび小テストの実施、自宅待機中の生徒のリモート参加などに活用。 												
① 学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている	89% ⇒ 90%																														
② 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている	85% ⇒ 86%																														
③ この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒(生活)指導を行っている	85% ⇒ 92%																														
④ 生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている	80% ⇒ 92%																														
⑤ いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている	89% ⇒ 98%																														
⑥ 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる	85% ⇒ 91%																														
⑦ 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている	85% ⇒ 90%																														
⑧ 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている	98% ⇒ 100%																														
⑨ 生徒の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法を行っている	79% ⇒ 89%																														

<ul style="list-style-type: none"> ②に「まったくあてはまらない」の回答が4%出現（昨年度0%）した。来年度から導入される「観点別評価」に関する取り組みへの不安の現れと思われる。 ⑥については、近年教育相談の対象となる生徒が増加している状況を受けて、校長マネージメント経費を使ってSCの訪問回数を今年度より倍増し、教育相談の体制を強化したことへの評価であろう。 ⑦については、コロナ禍の中で6月実施予定だった体育祭を、何とか9月に実施できたことが大きく影響しているであろう。 昨年度は、③ ⑥ ⑦ ⑨に「まったくあてはまらない」の回答が2~4%出現していたが、今年は0%となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 2 社会を切り拓く力 (1)キャリアサポート イ 卒業生による・・・を新規で入れた理由は何か。 ⇒ 生徒自身が自らのキャリア形成の意識をより強く意識してもらうための取り組みと位置付けている。 4 つながる力 (1)HR活動、生徒会、部活動の活性化 イ・オーストラリア語学留学の・・・について来年度の見通しと今後の方針についてどう考えているのか。 ⇒ 来年度の実施は正直難しいと考えている。しかし、提携校との関係を絶やさないための努力を継続し、再開できる日に備えたい。 5 チームで生徒と向き合う アの新規の支援教育委員会の設立とSCの定例参加は具体的な意図と方向性は何か。 ⇒ 近年本校に限らず支援教育の対象生徒は増加傾向にあり、担任が孤軍奮闘する傾向があった。そのため、支援教育委員会を立ち上げチームとしての対応と様々なノウハウの蓄積をめざしたい。SCの定例参加は、専門的な知見を反映させるためである。 3-(2)-ア「ネットトラブルの対応に関する講演会」も、時代に合わせた適切な実施だと思えます。こうした重要な話は「普段から聞いている上で、講演で改めて聞く」ことにより、生徒への訴求力が増すと考えますので、普段からの授業・生活指導でも、引き続き同内容をご指導のほどお願いいたします。
---	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R2年度値]	自己評価
1 確かな学力	<p>(1) 生徒の学習支援 ア・授業規律の徹底</p> <p>イ・新学習指導要領への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習支援体制の構築 教育産業の有効利用 外部模試の校内実施 <p>ウ・自学自習の環境整備及び運用</p>	<p>(1) 生徒の学習支援 ア・授業規律の徹底と聞かせる授業づくりによる学力保証</p> <p>イ・学習意欲の喚起する魅力あるカリキュラムマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期休暇中の講習実施による学習支援 教育産業を活用した自学自習動画教材の活用による弱点補強 外部模試の活用による客観的な自己分析 <p>ウ・学習意欲維持のための自習室及び質問コーナー活用推進</p>	<p>(1) 生徒の学習支援 ア・授業規律を守る生徒割合 90%以上 [89%]</p> <p>イ・新カリ実施に向けた組織的な取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期休暇中の講習への参加のべ人数 120名以上 [52名] 自主的な個別学習動画の生徒視聴率 60%以上 新規 外部模試参加者数のべ 400名以上 [270名] <p>ウ・自習室及び質問コーナーの活用数のべ 800名 [725名]</p>	<p>(1) 生徒の学習支援 ア・授業規律を守る生徒割合 93% (○)</p> <p>イ・総合探究の実施計画を策定中。移行期の23年生の増単位も認定済み (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期休暇中の講習への参加のべ人数 316名 (◎) 学習動画の生徒視聴率 58% (○) 外部模試参加者数のべ 351名 コロナ禍で2月模試が低調だった (△) <p>ウ・感染防止のため自習室は閉室中。代替として図書室を活用。質問コーナーは盛況のべ 851名が活用 (○)</p>
	<p>(2) グローバル人材の育成 ア・英語教育の一層の推進</p> <p>(3) 授業力向上 ア・PDCAサイクルによる授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員が切磋琢磨できる環境づくり <p>イ・「主体的・対話的で深い学び」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT活用推進 	<p>(2) グローバル人材の育成 ア・英語活用能力としての英語四技能習得に向けた取り組み</p> <p>(3) 授業力向上 ア・授業アンケート結果の振り返りによる授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業マイスターの指名及び相互の授業見学の活性化による授業力の向上 <p>イ・「主体的・対話的で深い学び」の研修及び授業見学による教授法等の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT機器の一層の充実と生徒一人一台の学習端末の有効利用 	<p>(2) グローバル人材の育成 ア・英語四技能習得に向けた英語スピーキング力測定ツールの全学年で年1回実施 新規</p> <p>(3) 授業力向上 ア・授業の振り返りシート提出と授業改善に向けた個別面談等の2回実施 [年2回]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断(生徒)「他の先生が授業見学にくる」肯定回答率 50%以上 [49%] <p>イ・「主体的・対話的で深い学び」に取り組む教職員の割合 80%以上 [79%]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習端末の活用に係る教職員研修2回以上実施と学習端末の授業活用率 70%以上 新規 	<p>(2) グローバル人材の育成 ア・3学年分のヘッドセット等を準備し授業計画も策定したがツールが利用できなかったため、代替としてChromebookの英語音声認識機能を活用 (○)</p> <p>(3) 授業力向上 ア・年2回目の振り返りシート提出と授業改善に向けた個別面談を実施 (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断(生徒)「他の先生が授業見学にくる」肯定回答率 48% コロナ休校等が相次ぐ中、教職員はオンライン授業の相互見学を実施していたが生徒からはわかりづらかったと思われる (ー) <p>イ・「主体的・対話的で深い学び」に取り組む教職員の割合 89% (◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学習端末の活用に係る教職員研修10回実施。学校教育自己診断(生徒)「授業で情報機器を活用している」肯定回答率 89% (◎)
2 社会を切り拓く力	<p>(1) キャリアサポート ア・自己の進路決定に対する早期の意識づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 希望する進路の実現 <p>イ・キャリア形成意識の涵養</p>	<p>(1) キャリアサポート ア・早期の意識づけのための保護者との進路スケジュール等の情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路実現に向けた様々なサポートの強化 <p>イ・高大連携の強化及び見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> Web参加を含むフィールドワーク等を通じたキャリア意識の涵養 	<p>(1) キャリアサポート ア・学校教育自己診断(保護者)「適切な進路指導」肯定回答率 75%以上 [73%]</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3学年4月の進路実現率 70%以上 [65%] <p>イ・高大連携に係るアンケート肯定回答 90%以上を維持 [91%]</p> <ul style="list-style-type: none"> フィールドワーク等に係るアンケート肯定回答 90%以上 [75%] 	<p>(1) キャリアサポート ア・学校教育自己診断(保護者)「適切な進路指導」肯定回答率 77% (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3学年の進路実現率 80% (◎) <p>イ・コロナ禍の影響で中止等も多数。実施できたのは4名のみ 100% (ー)</p> <ul style="list-style-type: none"> フィールドワーク等に係るアンケート肯定回答 90% (○)

府立茨木西高等学校

3 自律する力	<p>(1) 自律を促す教育活動 ア・基本的生活習慣の確立 ・規範意識の向上</p> <p>(2) 安全安心な学校づくり ア・人権感覚の醸成 ・道徳教育の推進</p> <p>イ・教育相談及び支援教育活動の充実</p> <p>ウ・交通安全指導の徹底 ・定期的な通学安全指導の実施 ・災害発生の迅速な対応</p>	<p>(1) 自律を促す教育活動 ア・生活指導の基本方針を生徒および保護者に周知 ・遅刻指導の徹底による朝の学習環境の保証</p> <p>(2) 安全安心な学校づくり ア・計画的な人権教育の推進によって同和問題やネットトラブル等に対応できる生徒を育てる ・計画的な道徳教育の推進によってコロナ禍の中で望ましい行動や判断等ができる生徒を育てる</p> <p>イ・担任会や委員会等での教育相談及び支援教育の情報共有の徹底</p> <p>ウ・入学時等の交通安全指導の実施 ・保護者、地域、警察と連携した通学安全指導による見守りの継続 ・災害時の連絡体制の構築と安否訓練の実施</p>	<p>(1) 自律を促す教育活動 ア・学校教育自己診断(保護者)「生徒指導の方針に共感」肯定回答率 80%以上維持 [81%] ・ロッカー前遅刻者数 5%減 [のべ 2310 名]</p> <p>(2) 安全安心な学校づくり ア・複数学年による「同和問題に関する講演会」の実施 [1 回] ・学校教育自己診断(生徒)「命の大切さ、社会のルール」に係るアンケートの肯定回答率 80%以上 [78%]</p> <p>イ・学校教育自己診断(生徒)「相談」に係る項目の肯定回答率 68%以上 [66%]</p> <p>ウ・登下校時の事故数を 12 件以下 [14 件] ・保護者、地域、警察と連携した通学安全指導年 5 回の実施を継続 ・双方向の連絡体制の構築と安否確認訓練への保護者の参加率 80%以上 [75%]</p>	<p>(1) 自律を促す教育活動 ア・学校教育自己診断(保護者)「生徒指導の方針に共感」肯定回答率 81% (○) ・ロッカー前遅刻者数のべ 2372 名 1%増 コロナ禍により欠席・遅刻に対する心理的ハードルが保護者も含め低下している (△)</p> <p>(2) 安全安心な学校づくり ア・コロナ禍による会場の入場者数制限により 1 年生でのみ実施、3 年生は授業中の取り組みで代替 (○) ・学校教育自己診断(生徒)「命の大切さ、社会のルール」に係るアンケートの肯定回答率 87% (◎)</p> <p>イ・学校教育自己診断(生徒)「相談」に係る項目の肯定回答率 70% (○)</p> <p>ウ・登下校時の事故数は 11 件 (○) ・計画通り 5 回の実施を完了 (○) ・生徒および教職員は学習支援クラウドサービスでの連絡体制を構築。保護者の安否訓練は臨時休校および府の 880 万人訓練中止に伴い徹底できず (ー)</p>
4 つながる力	<p>(1) HR 活動、生徒会、部活動の活性化 ア・HR 活動の活性化 ・生徒会活動の活性化 ・部活動の活性化</p> <p>イ・世界とつながる力の涵養</p> <p>(2) 小中及び地域との連携強化 ・中高連携の強化 ・地域連携の強化</p> <p>(3) 保護者との連携強化 ・きめ細かい家庭との連携</p>	<p>(1) HR 活動、生徒会、部活動の活性化 ア・計画的なロングホームルーム(LHR)の実施 ・生徒会主催による行事の見直し及び新しい企画の立案 ・部活動参加生徒数の増加</p> <p>イ・オーストラリア語学留学の相手校との連携維持</p> <p>(2) 小中及び地域との連携強化 ・地元 3 中学校との連絡協議会の開催と連携事業の実施 ・地域行事等への生徒参加</p> <p>(3) 保護者との連携強化 ・メール配信・封書連絡等を通じ、学校との連携強化</p>	<p>(1) HR 活動、生徒会、部活動の活性化 ア・3 学年の LHR 計画を学年主任会議で企画・調整し、学校教育自己診断(教職員)「学校行事が魅力ある」の肯定回答率 85%以上を維持 [85%] ・生徒会行事における満足度 80%以上 [79%] ・1 年生の部活動加入率 70%以上 [67%]</p> <p>イ・オーストラリア語学留学の相手校との Web ミーティング 1 回以上の開催</p> <p>(2) 小中及び地域との連携強化 ・地元 3 中学校との連絡会及び出前授業等の昨年度同様の実施 [連絡協議会: 3 回 出前授業実施: 4 校] ・地域行事等へのボランティア参加生徒数 25 名以上 [実施できず]</p> <p>(3) 保護者との連携強化 ・学校教育自己診断(保護者)「家庭連絡や意思疎通をきめ細かく」肯定回答率 95%以上を維持 [95%]</p>	<p>(1) HR 活動、生徒会、部活動の活性化 ア・6 月実施予定の体育祭は 9 月に実施。学校教育自己診断(教職員)「学校行事が魅力ある」の肯定回答率 90% (○) ・②行事における生徒満足度 78% 緊急事態宣言の影響で 6 月の体育祭を 9 月に延期し、規模を縮小して無観客で実施。その影響で文化祭は中止となり、代替行事として「いばにしフェスタ」を複数回行ったが生徒の満足度は低下した (△) ・1 年生の部活動加入率 71% (○)</p> <p>イ・オーストラリア語学留学の代替として外国語専門学校での疑似留学体験を夏休みに実施。2・3 年生の希望者 16 名が参加。Web ミーティングは 3 月実施を計画したが相手校の休校等で調整がつかず断念 (○)</p> <p>(2) 小中及び地域との連携強化 ・地元 3 中学校との連絡会は 3 回実施予定。出前授業については中学側の休止もあり 3 校のみで実施 (○) ・コロナ禍でボランティア行事はすべて中止。高齢者との Web 交流を 2 年生全員 (245 名) で計 7 回実施 (○)</p> <p>(3) 保護者との連携強化 ・学校教育自己診断(保護者)「家庭連絡や意思疎通をきめ細かく」肯定回答率 95% (○)</p>
5 生徒に向き合う力	<p>(1) チームで生徒と向き合う ア・生徒指導の充実 ・支援教育体制の再構築 ・発生する諸問題に「チーム茨西」として対応 ・ミドルリーダーや経験の少ない先生の育成</p> <p>イ・教職員の働き方改革</p>	<p>(1) チームで生徒と向き合う ア・カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導 ・SC と連携した支援教育体制の構築</p> <p>・校内状況に適應するための臨機応変な研修の実施 ・「若手教員交流会」活動等による校内育成</p> <p>イ・校務の精査とチーム力の向上により、生徒と向き合う教職員のゆとりを確保する</p>	<p>(1) チームで生徒と向き合う ア・学校教育自己診断(教職員)「カウンセリングマインドを取り入れた指導」肯定回答率 90%以上 [85%] ・SC の活用回数 40 件以上 [33 件]</p> <p>・職員研修に関する肯定回答率 70%以上 [アンケート未実施] ・「若手教員交流会」活動の実施 年 3 回以上 [2 回]</p> <p>イ・月当たりの時間外労働が 80 時間を超える教職員のべ 25 名以下 [旧システムで 14 名]</p>	<p>(1) チームで生徒と向き合う ア・学校教育自己診断(教職員)「カウンセリングマインドを取り入れた指導」肯定回答率 92% (○) ・12 月末現在の SC の活用回数件数 81 件 (◎) ・職員研修に関する肯定回答率 82% (◎)</p> <p>・1 人 1 台端末のモデル 8 校に選出され 10 日目研修対象者を中心に研究授業形式等も含め年 3 回実施 (○)</p> <p>イ・2 月末現在、80 時間を超える教職員は旧システムではのべ 9 名(昨年同期 14 名)だが、学校外の教育活動時間も含める新システムでは 24 名 (○)</p>